

日本弁理士会主催の研修会について、 下記の通りご案内いたします。



参加費
無料

近年、農林水産業における知的財産の活用の重要性が高まっており、農林水産分野のユーザーや弁理士においては、当該分野の知的財産制度を正しく理解することが求められています。そこで、日本弁理士会は、農林水産分野の知的財産に関する最近のトピックや活用法をテーマに、下記の通り、セミナーを開催します。

令和5年3月8日(水)

オンライン(Zoomウェビナー)

13:00 ~16:00

セミナー①

地理的表示保護制度の運用見直し

地理的表示の保護に関する制度は、特定の産地等と結び付いた商品の名称(地理的表示)を知的財産として保護するものですが、昨年、手続き負担の軽減や市場におけるプロモーション強化のための運用改正が行われ、ますますの活用が期待されます。本セミナーでは、地理的表示の保護に関する制度の基本を踏まながら、最新の審査基準の改訂や市場における展開政策について、事例を用いながら説明します。



セミナー②

農業分野における営業秘密の保護

近年、日本の優良品種の海外流出が問題となっていますが、優良品種の種苗と一緒にその栽培技術やノウハウも流出してしまうと、瞬く間に海外で産地形成され、大きな損害を被ることになります。本セミナーでは、昨年3月公表の「農業分野における営業秘密の保護ガイドライン」の内容を紹介しながら、農業経営上重要な営業秘密を適切に管理する必要性について説明します。

セミナー③

海外展開における 農水知財の取得・活用法について

海外進出するとき、知的財産権は、各国税制、外資規制・外資奨励制度、外国人在留許可、現地雇用慣習、会社設立制等と並ぶ程重要視されます。なぜでしょうか?海外展開における農水知財の取得の意義は、輸出品・現地生産品が模倣されるリスク、他者の権利侵害とされるリスクへの対応にあります。本セミナーでは、農林水産分野の知的財産について、知的財産の世界共通コンセプトから知的財産の保護概念を捉え、多国事業展開に有利な国際出願制度の活用から国際係争における心構えまでご説明します。





研修会概要

講 師

農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 課長補佐(企画班担当) 加藤 美奈 氏
農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 課長補佐(知的財産調整班担当) 岩瀬 祥子 氏
日本弁理士会 農林水産知財対応委員会 委員 久保 雅裕 氏

日時・会場

【日 時】 令和5年3月8日(水) 13:00 ~ 16:00 (休憩あり)
【定 員】 会員500名、一般500名 ※先着順
【会 場】 オンライン(Zoomウェビナー)

参加費

無料

申 込

下記のURLからお申し込みください。
<https://www.benrishi-navi.com/f/?id=a9596&type=1>
※後日ウェビナーに参加するための情報がメールで届きます。

<申込期限> 令和5年2月28日(火)

<個人情報の取り扱いについて>

ご登録いただいた個人情報は日本弁理士会の個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。運営は株式会社TEIに委託しています。
▼個人情報(個人データ)の利用目的
お申込みの際にご登録いただいた個人情報は、本イベントの申込管理や運営、本イベントに関する通知、連絡及び統計資料管理のために利用させていただきます。なお、法令に定める場合を除き、これら以外の目的のための利用または第三者提供はいたしません。

お問い合わせ

日本弁理士会 業務国際課

TEL : 03-3519-2703 E-mail : gyoumukokusai@jpaa.or.jp

※本ウェビナーに関する技術的なお問合せには一切回答出来ません。